

組織体制

所長

大窪 健之 理工学部 環境都市工学科 教授 文化遺産防災学

副所長

鈴木 祥之 衣笠総合研究機構 教授 耐震工学
 花岡 和聖 文学部 地域研究学域 准教授 地理情報科学
 河角 直美 文学部 地域研究学域 准教授 地理情報科学

研究メンバー

青柳 憲昌 理工学部 建築都市デザイン学科 准教授 建築史
 泉 知論 理工学部 電子情報工学科 教授 情報システム学
 伊津野 和行 理工学部 環境都市工学科 教授 耐震工学
 宇佐美 智之 文学部 地域研究学域 特任助教 GISを活用した文化遺産保全・歴史GIS

 岡井 有佳 理工学部 環境都市工学科 教授 まちの再生整備に関する調査
 小川 圭一 理工学部 環境都市工学科 教授 交通工学・交通計画
 小野 聡 政策科学部 政策科学科 助教 国内外の都市のサステイナビリティ政策調査

 片平 博文 文学部 地域研究学域 特任教授 歴史地理学
 鐘ヶ江 秀彦 政策科学部 政策科学科 教授 計画理論
 川合 誠 情報理工学部 情報理工学科 特任教授 情報通信
 川崎 佑磨 理工学部 環境都市工学科 准教授 RC構造
 河角 直美 文学部 地域研究学域 准教授 歴史地理学
 神田 孝治 文学部 地域研究学域 教授 文化遺産保全/防災とツーリズム
 金 度源 理工学部 環境都市工学科 准教授 文化遺産防災学
 小林 泰三 理工学部 環境都市工学科 教授 地盤工学
 桜井 政成 政策科学部 政策科学科 教授 国内外レジリエンス都市政策調査
 佐藤 弘隆 文学部 地域研究学域 特任助教 人文地理学・地域研究・デジタル人文学

 里深 好文 理工学部 環境都市工学科 教授 河川災害
 高橋 学 文学部 地域研究学域 教授 環境考古学
 武田 史朗 理工学部 建築都市デザイン学科 教授 ランドスケープデザイン
 塚口 博司 理工学部 環境都市工学科 特任教授 交通計画
 土岐 憲三 衣笠総合研究機構 特別研究フェロー 文化遺産防災学・地震工学

 豊田 祐輔 政策科学部 政策科学科 准教授 防災まちづくり
 仲谷 善雄 情報理工学部 情報理工学科 教授 防災情報システム
 狭間 恵三子 衣笠総合研究機構 教授 都市計画
 平尾 和洋 理工学部 建築都市デザイン学科 教授 建築意匠
 深川 良一 理工学部 特命教授 地盤工学
 福水 洋平 理工学部 電気電子工学科 准教授 信号処理工学
 福山 智子 理工学部 建築都市デザイン学科 准教授 歴史文化建造物の劣化診断・非破壊検査・建築材料学

 藤井 健史 理工学部 建築都市デザイン学科 助教 建築・都市空間解析
 藤本 将光 理工学部 環境都市工学科 准教授 砂防工学
 益田 兼房 衣笠総合研究機構 教授 文化財保存学・日本建築史
 宗本 晋作 理工学部 建築都市デザイン学科 教授 建築計画
 村中 亮夫 文学部 地域研究学域 准教授 地理情報システムを用いた住民参加型の安全安心マップ作成に関する研究

 持田 泰秀 理工学部 建築都市デザイン学科 教授 建築構造・生産・材料
 矢野 桂司 文学部 地域研究学域 教授 地理情報科学

山内 寛紀	理工学部 電気電子工学科	特任教授	自動画像認識
山崎 有恒	文学部 日本史研究学域	教授	河川改良史
山田 悟史	理工学部 建築都市デザイン学科	講師	建築情報学
山本 理佳	文学部 地域研究学域	准教授	文化遺産の保全と活用・ 災害と観光
吉富 信太	理工学部 建築都市デザイン学科	教授	建築構造学
若手研究者			
大橋 弘明	衣笠総合研究機構	専門研究員	
石田 優子	衣笠総合研究機構	専門研究員	
酒井 宏平	OIC 総合研究機構	専門研究員	
今村 聡	衣笠総合研究機構	補助研究員	

活動概要

歴史都市防災研究所は文化遺産の宝庫とも言うべき京都に基盤を置き、芸術と文化の保全とそれを支えるコミュニティを含めた災害対策とを一体の物として捉える「文化遺産防災学」の教育・研究拠点を目指し、以下の3つの研究部会において、災害科学、土木工学、建築学、情報学、政策科学、歴史地理学など、文理を連携させた研究活動を推進している。

歴史文化都市の時空間データ基盤研究部会

歴史文化都市の将来の災害リスクを明らかにし、災害時の対応や復興時の状況を歴史的背景とともに具体的に評価していくために、京都をはじめとする歴史都市を対象にした、時空間的なデータ基盤を構築し、歴史文化都市ならびに文化遺産の災害リスクや空間の質に関する地理空間分析とこれをふまえた評価ツールの開発を試みる。

歴史文化都市の防災技術研究部会

「歴史・文化・意匠的価値」と「防災性能」を兼ね備えた歴史文化都市・地域の防災技術を確認すること目的に、歴史文化都市空間の歴史的・文化的価値を保全する防災技術を向上させるとともに、他の研究部会とも連携して、歴史文化都市・地域のハザード情報と歴史文化都市空間の歴史的・意匠的・防災技術的価値評価を整理する。

歴史文化都市の防災デザイン研究部会

「歴史・文化・意匠的価値」と「防災性能」を兼ね備えた歴史文化都市の防災技術を確認することを目的に、伝統的な知恵と地域の歴史・文化を生かした耐震設計・改修技術や防耐火システム・機器の開発、歴史文化地域の地盤環境およびハザード評価を踏まえた防災対策の提案を行う。

上記に加えて、2006年以降14年にわたり継続している京都や被災地をフィールドとした文化遺産の防災に関わる国際的な研修事業「ユネスコ・チェア国際研修」を中心に、世界各国での文化遺産の防災に関わるフォローアップ研修事業の支援や、GIS技術を援用した文化遺産防災情報の国際的共有手法の開発、歴史都市および文化遺産の災害とその対策に関する情報アーカイブの構築などを学内外の関連機関と共同で行うことで、国際展開・社会連携を推進している。また、歴史都市や文化遺産の防災に関する研究発表が行われる国際学術シンポジウム「歴史都市防災シンポジウム」の開催も本年度で第13回目を迎えたほか、多数の応募を集め全国大会でも優秀な成績をおさめている「みんなで作る地域の安全安心マップコンテスト」の年次開催も積極的に推進している。

また、過年度に引き続き文部科学省私立大学等経常費補助金（研究施設運営支援）により、上記の研究部会における研究活動に加え、より発展的な研究プロジェクトを推進した。

それらの研究成果については、本報告書に第4章に掲載する。